



平成27年10月19日

各位

上場会社名 日本化学産業株式会社
 代表者 代表取締役社長 柳澤英二
 (コード番号 4094)
 問合せ先責任者 総務部長 百瀬 譲
 (TEL 03-3873-9223)

業績予想(連結・個別)および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月14日に公表した業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,560	830	900	730	36.56
今回修正予想(B)	9,060	580	660	450	22.72
増減額(B-A)	△500	△250	△240	△280	
増減率(%)	△5.2	△30.1	△26.7	△38.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	9,619	888	974	620	31.13

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,960	2,190	2,330	1,780	89.14
今回修正予想(B)	19,160	1,880	2,020	1,620	81.79
増減額(B-A)	△800	△310	△310	△160	
増減率(%)	△4.0	△14.2	△13.3	△9.0	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	19,671	1,761	1,956	977	49.03

平成28年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,100	860	930	770	38.56
今回修正予想(B)	8,650	670	750	620	31.30
増減額(B-A)	△450	△190	△180	△150	
増減率(%)	△4.9	△22.1	△19.4	△19.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	9,255	922	1,010	654	32.83

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,940	2,180	2,320	1,800	90.15
今回修正予想(B)	18,290	1,960	2,110	1,810	91.38
増減額(B-A)	△650	△220	△210	10	

増減率(%)	△3.4	△10.1	△9.1	0.6	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	18,632	1,863	2,059	1,508	75.65

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、薬品事業が中国経済の減速等に関連しての国内の鉱工業生産低下に伴う販売数量の減、さらに主要原材料である非鉄金属相場下落に伴う販売価格の下落、海外子会社ネクサス・エレクトリック社の主要取引先のハードディスク関連事業からの撤退に係る納入数量の大幅減等により、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益とも低迷致しました。また当該海外子会社におきましては前述の主要取引先の事業撤退に伴い減損処理をせざるを得ず特別損失として計上致します。建材事業につきましては、消費税増税前の駆け込み需要の反動減の影響を完全には払拭できず、売上、利益とも伸び悩みました。

第3四半期以降は、薬品事業は二次電池用正極材受託加工の本格化、海外子会社サイアム・エヌケーエス社の新製品の生産の軌道化等により、当初予想に近似する業績を見込んでおります。建材事業につきましては、前述の消費税増税に伴うマイナスの影響より、主要取引先が脱却しつつあることから、売上、利益とも回復を見込んでおります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成27年8月7日発表)	—	10.00	—	10.00	20.00
今回修正予想	—	9.00	—	10.00	19.00
当期実績	—	—	—	—	—
前期実績 (平成27年3月期)	—	9.00	—	9.00	18.00

修正の理由

当社は、株主への利益還元を業績、安定配当等を考慮しつつ、総合的に勘案して配当を実施することを基本方針としております。中間配当金予想につきましては、業績予想の修正に伴い、1株当たり9円とし、期末配当金予想につきましては10円、年間配当金予想19円を見込んでおります。

以 上